

草の根・人間の安全保障無償資金協力
「オロミア州アルシ県レム・ビルビロ郡道路及び橋梁改修計画」署名式

2026年2月4日、駐エチオピア日本国大使公邸において、草の根・人間の安全保障無償資金協力「オロミア州アルシ県レム・ビルビロ郡道路及び橋梁改修計画」の署名式が開催されました。

式典には「オロミア州アルシ県レム・ビルビロ郡道路及び橋梁改修計画」の事業実施団体であるサラリンニ「人々救済のための開発機構」代表及びアルシ県ボコジ町出身でエチオピア人女性初のオリンピック金メダリストであるデラルトゥ・トゥル選手が出席しました。本案件は、我が国から約90,000ドル（約1,340万円）を供与し、全天候型道路（2km）及び橋梁（1基）を整備するものです。本支援により雨季の通行障害が解消され、4村約28,000名の住民が年間を通じて町への安全なアクセスが可能となり、教育、医療及び経済活動の機会が確保されることが期待されます。

同式典において、柴田大使は、エチオピアにおける人間の基礎生活分野（BHN）のための支援の重要性に触れるとともに、両国間のスポーツ交流強化に貢献しているデラルトゥ選手への敬意を表明しました。また、今回の協力により、天候を問わず地域の大人も子どもも自由に走り回れるようになり、デラルトゥ選手に続く世界レベルで活躍する選手がこの地から輩出され、日・エチオピアの架け橋となるよう期待を述べました。

柴田大使（右）、デラルトゥ・トゥル選手
（中央）、サラリンニ代表（左）



大使挨拶



デラルトゥ選手によるゲストスピーチ



集合写真

